

対象年度	令和 7年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	施設運営管理事業（生きがいふれあいセンター）						予算事業名	施設運営管理経費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			03	01	09	1101	経常経費							
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり 高齢者福祉の総合的な推進						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	介護福祉課 長寿支援係						
事業期間	継続（昭和47年度～令和 9年度）													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
高齢者の介護予防、健康増進及び生きがいづくりを図る。						昭和47年4月1日に筑西広域市町村圏事務組合から結城市へ事務移管され、老人いこいの家として運営開始。平成11年度、12年度に全面改修工事を経て、平成18年9月28日「結城市生きがいふれあいセンター」と施設名称及び使用目的等を変更し現在に至る。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
結城市生きがいふれあいセンターを管理運営し、高齢者のふれあいの場を提供するほか、介護予防教室の場として活用する。 令和8年度末をもって利用停止とし、令和9年度に除却工事を実施する。						市内在住の高齢者								
						【事業をとりまく環境の変化】 高齢化が進展する中で、元気な高齢者に対する施策が重要となっており、高齢者が生きがいをもって生活することは介護予防につながる。しかし、建物が老朽化しているため、令和9年度に除却予定である。								
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】						
施設運営管理				施設運営管理※年度末をもって使用停止 除却工事の実施設計委託				工事着手までの維持管理 建物及び付帯物の除却工事						

■事業費

		R05年度	R06年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,782	5,212			
歳入計（千円）		4,782	5,212			
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	10 需用費	916	1,093			
	11 役員費	80	83			
	12 委託料	3,445	3,947			
	13 使用料及び賃借料	88	87			
	14 工事請負費	251	0			
	18 負担金補助及び交付金	2	2			
歳出計（千円）（A）		4,782	5,212			
伸び率（％）			8.99			
備 考	総合計画58ページ 予算書90, 91ページ					

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	利用者数	人	目標	8,400.00	7,000.00	7,200.00
	年間の施設延べ利用者数		実績	6,843.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	高齢者のふれあいや介護予防教室の場として利用者も定着しているが、築50年が経過し、老朽化が進んでいるため施設の除却が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が高齢者のふれあいの場や介護予防サービスの場所を提供することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	高齢者の触れ合いや介護予防教室の場として利用者も定着しているため、現状の運営は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	常駐の管理人が施設管理・予約業務を一括して行うことができ、事務の効率が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	登録した団体等のみに限定せず、市内高齢者の個人・団体等に広く貸し出しており、偏りなく提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は減少したが、利用者数は年々増加しており、コロナ禍以前の利用状況に戻りつつある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	高齢者のふれあいの場や介護予防サービスの場所として永く提供してきた。利用者の安全を考えると老朽化による除却は必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
高齢者のふれあいの場や介護予防サービスの場所を提供してきており、有益な事業である。令和8年度末をもって使用停止となるため、現在の利用者のその後の受け皿となる施設が必要である。また、避難所に指定されているため担当課との事前協議が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
早い時期から、施設の利用停止を利用者へ周知し混乱が起きないように努める。令和9年度内除却完了に向けて、設計委託を令和8年度に進める。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 高齢者の生きがいがづくりや介護予防の場として利用され一定の役割を果たしており、避難所としても指定されていることから市にとって有用な施設となっているが、施設の老朽化により令和9年度除却予定であるため、施設の状態や利用状況を踏まえ準備を進めていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり